

学生のみなさんへ メンタルヘルスに関するアンケート調査の お願い

ADHD（注意欠如多動症）は、人口の5%ぐらいに認められ、小学校時代までにその特徴が明らかになる発達障害ですが、診断にまで至らなくても特性をもつ人はさらに多いと考えられています。この研究では、大学生・大学院生がもつADHD特性が、行動や気分、自己評価や考え方にどのように関係しているかを調べることで、ADHDをもつことで支障をきたしやすい修学の達成に及ぼす要因を同定することを目的としています。一般的な傾向と比較するために、徳島大学の大学生・大学院生のみなさんを対象に調査への協力をお願いしています。

このアンケート調査は、ADHD症状についての質問のほか、最近の気分について、普段の行動パターンや考え方について等の選択式の質問に無記名で答えていただく10分ぐらいのアンケートとなっています。

アンケート調査に協力いただける方は、説明文書をよくよんでいただき、QRコードからアンケートに回答してください。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

- 説明文書 別紙（PDF）をご覧ください
- アンケートの回答はこちらから



または

[ここをクリック](#)